

多文化共生事業
ローカライズ研修会

日時：平成27年9月16日(水)
13:00～17:30

場所：(一財)自治体国際化協会



研修は「参考」から「応用」へ

「ただ優良事例を聞くだけの研修ではもの足りない」
「優良事例を自分の地域で応用したい」
そう考えている方からの参加を、お待ちしております。

Good Practice (優良事例)

● 富山県
とやま国際センター

● 山形県
山形県国際交流協会

● 滋賀県
滋賀県国際協会

参加定員
18名 (各テーマ6名)

申込締切
9/2

《WORK SHOP》

優良事例のポイントを自らの地域に応用する(=ローカライズ)

Section 1 (13:00~13:50) ローカライズのためのポイント解説等

ローカライズする際の考え方を学ぶ

講師:(特活)多文化共生マネージャー全国協議会 理事 高橋 伸行 氏

※参加者全員で受講



Section 2 (14:00~16:10) 優良事例の地域での実践を考える

優良事例を学び、そのローカライズ方法を検討する

- ①それぞれの事例について事業担当者から優良事例たる秘訣・ポイントを聞く
- ②事前課題及び①での学びを基に、優良事例のポイントを地元で応用する方法を検討(「期待と課題の整理」及び事例のポイント導入のための「ロードマップ」づくり)



テーマ:子ども・教育

事例:外国にルーツを持つ子どもへの教育支援事業2014

ファシリテーター:(公財)滋賀県国際協会 大森 容子氏

テーマ:推進体制の整備

事例:山形在住外国出身者ネットワーク構築・強化事業

ファシリテーター:(公財)山形県国際交流協会 川向 有希氏

テーマ:災害時の外国人支援

事例:広域連携による災害時外国人支援防災訓練

ファシリテーター:(公財)とやま国際センター 中村 則明氏

実際の
講師は
事業
担当者

※テーマ別に分かれ、①を班毎に実施した後、②は参加者各自で実施

Section 3 (16:20~17:10) 各班で共有・検証

作成したロードマップを各班で共有

Section 2で作成した各参加者のロードマップについて、参加者同士の多様な観点から意見交換を行い、ローカライズの実践をより具体的にイメージ

Section 4 (17:10~17:30) 全体での共有・ふりかえり



研修参加者の声

- ・今あるリソースを活かす方法を考える機会を得た
- ・実例とその実施までの背景を知ることができた
- ・他団体の事情を知り、良い刺激になった etc

一般財団法人自治体国際化協会 多文化共生部多文化共生課 担当：河合 あて

FAX: 03-5213-1742 TEL: 03-5213-1725

E-mail: h-kawai@clair.or.jp

一般財団法人自治体国際化協会 多文化共生事業ローカライズ研修会
参加申込書

団体名：

申込代表者：

電話：

E-mail：

| 所属名 | 職名 | 氏名 | 研修会 | | |
|-------------|----|--------|--------|---------|----|
| | | | 子ども・教育 | 推進体制の整備 | 災害 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| (例)自治体国際化協会 | 主事 | クレア 太郎 | ① | ② | — |

※1 研修会は、参加希望のテーマ(子ども・教育、推進体制の整備、災害)について、希望順に番号をご記入ください。その際、1つ又は2つのテーマにのみ参加を希望される場合は、希望順に1番又は2番までの数字をご記入ください。

※2 研修会への参加申込みは、席に限りがあるため、1団体2名までとし、定員を上回る場合は先着順とさせていただきます。なお、2名お申し込みいただいた場合、1名のみのお受けをお願いする場合があります。何卒、ご了承ください。

※3 研修への参加に当たっては、事前課題に取り組んでいただきます。事前課題の詳細については、参加者の方へ別途送付する開催概要をご覧ください。(事前課題：優良事例に関する事前配付資料の理解及び課題検討シートの作成)

備考

| |
|--|
| |
|--|

お申し込み期限：平成27年9月2日(水)